

フェロモン、

感じてます？

香り、匂いの文化



秋が深くなるにつれ、
町で漂う匂いも、金木犀、松茸...と旬を迎えています。

いい香りに思わず
足を止めてしまう

ことはありませんか？

季節の匂いに限らず、

ちょっとしたリラックスや気分転換に

貴方は既に香りを生活の中に

取り入れているかもしれません。

今回は、匂いに関する様々な本を集めました。

これを機に、あなたの周りの香りに立ち止まってみませんか？

香りの種類、あれこれ

入浴剤やハンドクリーム、アロマオイル等で目にする香りには様々な種類があります。そんな"香りの種類に関する本"を集めました。

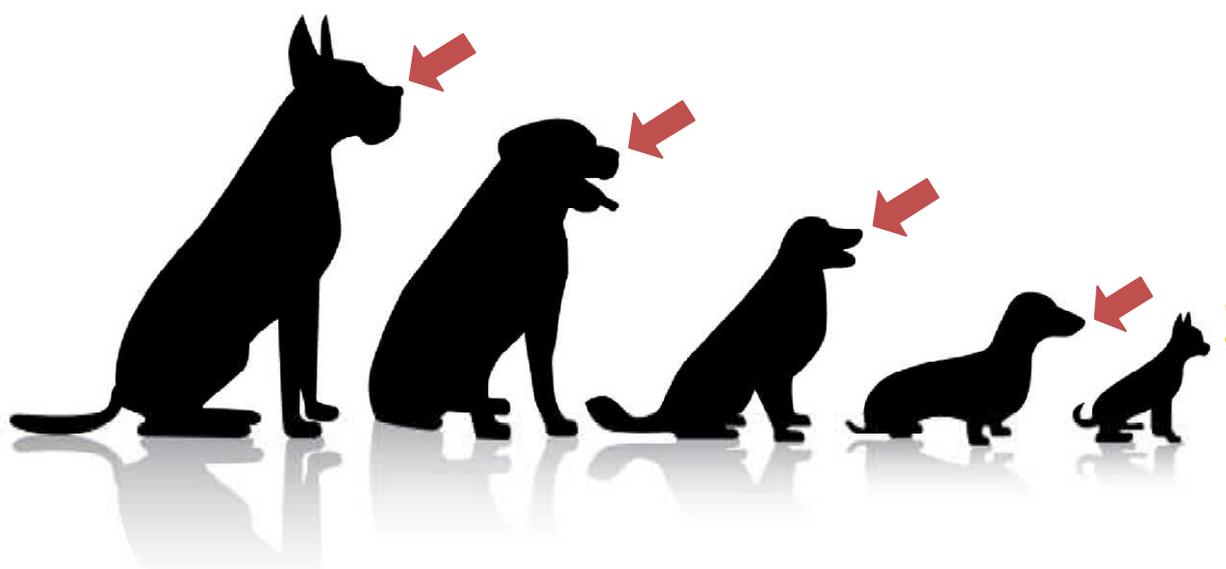
タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
サクラとウメの花の香り (香り選書 1).	堀内哲嗣郎	大学図・1F 開架	576A/H89s
進化する"みどりの香り" : その神秘に迫る (香り選書 2)	畑中顯和	大学図・1F 開架	471A/H42s
森の香り (香り選書 2)	宮崎良文	大学図・1F 開架	632/31
エッセンシャルオイルの科学 : 精油の正しい知識と理解を深めるために (香り選書 4)	亀岡弘	大学図・1F 開架	576A/Ka35e
ユズの香り : 柚子は日本が世界に誇れる柑橘 (香り選書 7)	沢村正義	大学図・1F 開架	576A/Sa95y
橘の香り : 古代日本人が愛した香りの植物 (香り選書 9)	吉武利文	大学図・1F 開架	625A/Y92t
花の香りの秘密 : 遺伝子情報から機能性まで (香り選書 12)	渡辺修治・ 大久保直美	大学図・1F 開架	471A/W46h
花の秘密 : 育種さまざま	佐俣淑彦	大学図・1F 開架	472/13
花とかおり : 花精油について	外山孟生	大学図・書庫	575/4

匂いを感じるヒト・動物

人間は普段、どんな匂いを感じているのでしょうか？人間より敏感な嗅覚を持つといわれている動物の感じる匂いはどういったものなのでしょうか？

ここでは、「匂いの生物学に関する本」を集めました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
グルメなサル香水をつけるサル：ヒトの進化戦略	上野吉一	大学図・1F 開架	488/198
人にフェロモンはあるのだろうか？：ヒトケミカルコミュニケーションの生理学 (香り選書 16)	柏柳誠	大学図・1F 開架	491.37A/Ka77h
香り分子で生物学を旅する：嗅覚と科学のファンタジー (香り選書 13)	大瀧丈二	大学図・1F 開架	491.37A/O83k
イヌは匂いの夢を見る：なぞに包まれたイヌの嗅覚を科学する (香り選書 6)	外崎肇一	大学図・1F 開架	489A/To63i
カエルの鼻：たのしい動物行動学	石居進	大学図・1F 開架	484/82
匂いと昆虫の巧みな世界：匂いに支配されている昆虫の不思議 (香り選書 19)	井濃内順	大学図・1F 開架	486A/I56n
ロボットで探る昆虫の脳と匂いの世界：フェアブル昆虫記のなぞに挑む (香り選書 10)	神崎亮平	大学図・1F 開架	486A/Ka59r



匂いのメカニズム

貴方がいま感じている図書館の紙の香りは、しくみで感じているのでしょうか？
ここでは、"香りを感じるしくみに関する本"を集めました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
匂いの謎：嗅覚の世界を探る	渋谷達明	大学図・書庫	492/282
匂いと香りの科学	渋谷達明 市川眞澄編	大学図・書庫	492/443
匂いの科学	高木貞敬 渋谷達明編	大学図・書庫	492/189
感性バイオセンサ：味覚と嗅覚の科学	都甲潔編	大学図・書庫	492/317
脳とニオイ：嗅覚の神経科学	大村裕 中川八郎	大学図・書庫	492/179 ア/19
香りの世界をさぐる	中村祥二	大学図・書庫	575/16

暮らしの中の匂い



人は匂いをどのように活用してきたのか、社会や人の"暮らしのにおいに関する本"を集めました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
においの歴史：嗅覚と社会的想像力	アラン・コルバン 山田登世子[ほか]訳	大学図・書庫	519/153 ア
匂いの人類学：鼻は知っている	エイヴリー・ギルバート 勅使河原まゆみ訳	大学図・1F 開架	141.2A/G44n
歯と香り：歯科診療をとりまく香り (香り選書 8)	千葉栄一	大学図・1F 開架	497A/C42h
文化を育んできた木の香り：その機能と生活との関わり (香り選書 15)	谷田貝光克	大学図・1F 開架	658A/Y66b
お線香の考現学：暮らしに根付くお線香の香り (香り選書 20)	鳥毛逸平	大学図・1F 開架	589A/To67o
匂いで害虫をコントロールする：性フェロモンかく乱剤による防除 (香り選書 18)	望月文昭・渋谷達明	大学図・1F 開架	615A/Mo12n

匂いの文化

匂いがどのようにとらえられてきたのか、"匂いの文化的側面"から本を集めました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
匂いの文化史的研究：日本と中国の文学に見る	高橋庸一郎	大学図・書庫	575/33
香りの比較文化誌：東の「香」から西の「アロマテラピー」まで	宮澤正順 シャウマン・ヴェルナー	大学図・1F 開架	575/30
作家は何を嗅いできたか：におい、あるいは感性の歴史	三橋修	大学図・1F 開架	910.26A/Mi17s
においとひびき：日本と中国の美意識をたずねて	朱捷	大学図・書庫	701/231

匂いの文学

"匂いが感じられる小説"を世界から集めてみました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
すいかの匂い	江國香織	大学図・1F 開架	Shincho/え 10/6
花匂う	山本周五郎	大学図・1F 開架	Shincho/や 2/42
王女の涙	大庭みな子	大学図・1F 開架	Shincho/お 36/1
第七官界彷徨；琉璃玉の耳輪：他四篇	尾崎翠作	大学図・書庫	081.2/33C/782
香水：ある人殺しの物語	パトリック・ジュースキント 池内紀訳	大学図・1F 開架	943/109
セザール・ピロトー：ある香水商の隆盛と凋落 (バルザック「人間喜劇」セレクション 第2巻)	バルザック	大学図・書庫	950.8/65/2

日本の香り

古来、日本では、色彩があざやかに映えるさまも「匂い」と表現されました。

また、百人一首で知られる通り、和歌ではたくさんの香りが登場します。

いろは歌 いろはにほへと ちりぬるを

(色は匂へど 散りぬるを)

人はいさ 心も知らず ふるさとは 花ぞ昔の 香ににほひける

紀貫之

いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にほひぬるかな

伊勢大輔

そんな日本の香りが平安時代の女性たちの色あざやかに重ねられた着物や香の薫合わせの華やかな様子として存分に描かれたのが、紫式部の『源氏物語』の「梅枝」です。

ここでは、そんな"日本の香りを感じられる本"、

日本の香りの文化の一つである"『香道』に関する本"を集めました。

『香道』とは...

香をたいてその匂いを鑑賞する芸道。室町時代に成立し江戸時代の元禄期に盛行した。香をたく習慣は仏教とともに日本に伝わった。初め仏教儀礼の一作法として香をたいていたが、8世紀頃から宮廷人の生活に取り入れられて普及。

(ブリタニカ国際百科事典より)

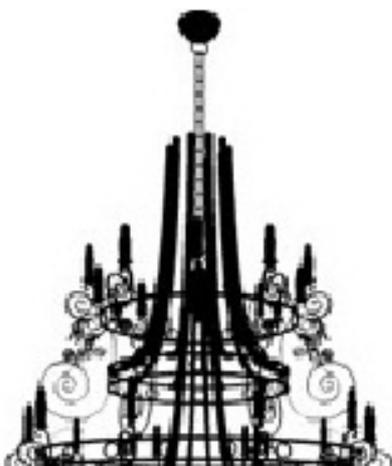
日本の香り

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
日本の香り	コロナ・ブックス編集部編	大学図・1F 開架	575/38
源氏物語 巻五	紫式部 瀬戸内寂聴訳	大学図・1F 開架	913.36/86/5
いにしへの香り：古典にみる「にほひ」の世界	樋口百合子	大学図・1F 開架	910.23A/H56i
王朝のかさね色辞典	吉岡幸雄[ほか]	大学図・1F 開架	757.3A/Y92o
源氏の薫り	尾崎左永子	大学図・書庫	913.36/64
光源氏が愛した王朝ブランド品	河添房江	大学図・1F 開架	913.36/188
薫りの源氏物語 (源氏物語をいま読み解く 2)	三田村雅子・河添房江編	大学図・1F 開架	913.36/17 ア/2

香道

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
香道への招待	北小路功光	大学図・1F 開架	792/3
香千載：香が語る日本文化史	石橋郁子文 宮野正喜写真	大学図・書庫	792/6a
香道具	荒川浩和	大学図・書庫	708/19/276
香の文化史：日本における沈香需要の歴史	松原睦	大学図・1F 開架	792A/Ma73k
図解香道の作法と組香	香道文化研究会編	大学図・1F 開架	792A/Ko21z
中世後期の香文化：香道の黎明	本間洋子	大学図・1F 開架	792A/H85c
茶道・香道・華道と水墨画：室町時代 (よくわかる伝統文化の歴史 2)	中村修也監修	大学図・1F 開架	702.1/286/2
香三才：香と日本人のものがたり	畑正高	大学図・1F 開架	792/5

西洋の香り



西洋の香り文化といえば、ヨーロッパで発達した香水です。

日本の香道で使用される香炉等の道具と同様、西洋でも美術的な価値のある香水瓶も作られました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
香りの創造	エドモン・ ルドニツカ 曾田幸雄訳	大学図・1F 開架	085.2/1/687
香水：香りの秘密と調香師の技	ジャン=クロード・エレナ 芳野まい訳	大学図・1F 開架	085.2/1/953
匂いの帝王：天才科学者ルカ・トゥリンが挑む嗅覚の謎	チャンドラー・ バール 金子浩訳	大学図・書庫	492/366
パヒュームレジェンド：世界名香物語	マイケル・ エドワーズ 中島基貴訳	大学図・1F 開架	595/11
香水瓶の世界：きらめく装いの美	高波眞知子 [ほか]	大学図・書庫	751.5A/Ta46k
香りの匠たち：香水王国フランス賛歌 (香り選書 5)	広山均	大学図・1F 開架	576A/H75k
香水からのメッセージ：創香ーあなただけの香りづくり	平尾京子	大学図・書庫	575/24



香りと美味しさ

人が利用してきた香りといえば、香・香水等の身につける香りと、食べ物の風味に様々な変化を与える香辛料（スパイス）があります。

ここでは"香辛料に関する本"を集めました。

タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
香料文化誌：香りの謎と魅力	C・J・S・トンプソン 駒崎雄司訳	大学図・書庫	575/27
香薬東西	山田憲太郎	大学図・1F 開架	576A/Y19k
香辛料の世界史	リュシアン・ギュイヨ 池崎一郎[ほか]訳	大学図・1F 開架	085.2/1/682
スパイスの歴史	フレッド・ツアラ 竹田円訳	大学図・1F 開架	619A/C99s
香料植物	吉武利文	大学図・1F 開架	617A/Y92k
スパイスの人類史	アンドリュー・ドルビー 樋口幸子訳	大学図・1F 開架	614/100
スパイス・ロード：香辛料の冒険者たち	山崎峯次郎	大学図・書庫	209/32
香辛料の民族学：カレーの木とワサビの木	吉田よし子	大学図・書庫	081.2/58/882
アドニス園：ギリシアの香料神話	マルセル・ドゥティエンヌ 小苺米暁, 鷓沢武保訳	大学図・書庫	167/86



美味しさの香りの秘密

香辛料で味付けされた料理以外にも、食べ物や飲み物の香りは私たちの食欲をそそります。果物の果汁の香り、ワイン、コーヒー...
魚や肉が香ばしく焼けた匂い、お祭りの露天の焼きそばの匂い...



ここでは、「味と匂いに関する本」を集めました。

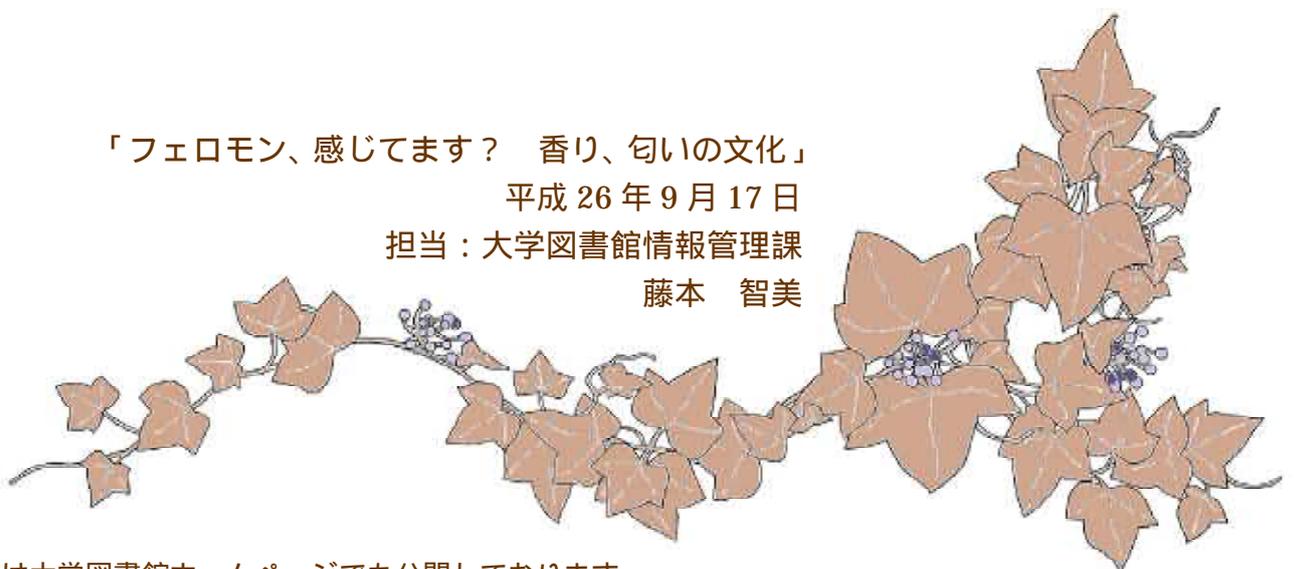
タイトル	著者	配架場所(略)	請求記号
においと味わいの不思議 : 知ればもっとワインがおいしく なる	東原和成[ほか]	大学図・1F 開架	498.5A/To23n
ワインの科学	ジェイミー・グッド 梶山あゆみ訳	大学図・1F 開架	578/146
柑橘類 (シトラス) の文化誌 : 歴史と人との関わり	ピエール・ラスロー 寺町朋子訳	大学図・1F 開架	625A/L33s
中国茶・五感の世界 : その歴史 と文化	孔令敬	大学図・1F 開架	619/26
食品香粧学への招待	藤森嶺編	大学図・1F 開架	576A/F62s
味と匂いをめぐる生物学	斎藤徹[ほか]	大学図・1F 開架	481.3A/Sa25a
美味しさの脳科学 : においが 味わいを決めている	ゴードン・M シェファード 小松淳子訳	大学図・1F 開架	491.37A/Sh14o
興奮する匂い食欲をそそる匂 い : 遺伝子が解き明かす匂 いの最前線	新村芳人	大学図・1F 開架	491.37A/N72k
食品の匂いと異臭	加藤寛之 渡辺久夫	大学図・1F 開架	498.5A/Ka86s
味覚の学校	プラート味覚教育セ ンター・中野美季共	大学図・1F 開架	498.5A/N39m
世界「香食」(こうしょく)大博覧 会 : 臭くて美味い不思議な話 100	小泉武夫	大学図・書庫	381/205

「フェロモン、感じてます？ 香り、匂いの文化」

平成 26 年 9 月 17 日

担当：大学図書館情報管理課

藤本 智美



本冊子は大学図書館ホームページでも公開しております。

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/exhibition.html>